

## 付録 5.D フーリエ変換の性質

本文中で述べなかったフーリエ変換の性質をいくつかまとめる。

性質 8. (和分)

$$\mathcal{F}\left\{\sum_{m=-\infty}^n x[m]\right\} = \frac{1}{1 - e^{-j\omega}} X(\omega) + \pi X(0) \sum_{k=-\infty}^{\infty} \delta(\omega - 2\pi k).$$

性質 9. (周波数微分)

$$\mathcal{F}\{nx[n]\} = j \frac{dX(\omega)}{d\omega}.$$

性質 10. (時間軸・周波数軸のスケーリング)  $k$  を正の整数とすると,

$$x_{(k)}[n] = \begin{cases} x\left[\frac{n}{k}\right], & n \text{ が } k \text{ の倍数のとき,} \\ 0, & n \text{ が } k \text{ の倍数でないとき} \end{cases}$$

と定義することにより, つぎの関係式が成り立つ.

$$\mathcal{F}\{x_{(k)}[n]\} = X(k\omega).$$

性質 11. (周期的たたみこみ) 2つの信号  $\tilde{x}_1[n]$  と  $\tilde{x}_2[n]$  がともに周期的の場合, その周期的たたみこみをつぎのように定義する. ただし, 信号の周期はともに  $N$  とする.

$$\tilde{y}[n] = \tilde{x}_1[n] \otimes \tilde{x}_2[n] = \sum_{m=\langle N \rangle} \tilde{x}_1[m] \tilde{x}_2[n-m], \quad \langle N \rangle = \{0, 1, \dots, N-1\}.$$

注意.

通常のたたみこみが収束しないため, 性質 6 (たたみこみ) をそのまま適用することはできない.